制作作品の評価基準

APSくだもの図鑑から、HTML/CSSによるWebコンテンツ

# 本資料の目的

本資料は、APSくだもの図鑑をベースに、HTML/CSSを用いて制作したWebコンテンツを評価する際の基準を示すものです。三観点（知識・技能、思考・判断・表現、態度）別に記載しています。

JavaScriptやPythonを用いて、Webコンテンツにプログラムによる動作を追加した作品についても評価できるように補足しています。

# 使用上の注意

本資料が示す評価の基準は絶対的なものではありません。生徒・授業・学校の事情や学習状況に合わせて、適宜調整をしてください。

# 評価基準

## 知識・技能の観点の評価基準

APSの「カスタマイズ」で取り上げられている内容を応用し、APSが提供するファイルの変更によって実現しているとき、「おおむね満足できる」（B）としています。

学習した内容をもとに、ファイルの新規作成や、要素の新規追加を行なっているとき、「十分満足できる」（A)としています。

|  |  |
| --- | --- |
| 評価 | 評価の視点 |
| 「おおむね満足できる」状況（B） | * APSくだもの図鑑の既存のHTMLファイルの該当箇所を書き換えて、画面に表示する文字を変更している。
* APSくだもの図鑑の既存のHTMLファイルを書き換えて、複数のWebページ間を移動できるようにしている。
* APSくだもの図鑑の既存のCSSファイルを書き換えて、背景や文字の表示の色を調整している。
 |
| 「十分満足できる」状況（A） | * 新規に作成したHTMLファイルにつき、各種のタグを利用して、見出しやリンクの文字、画像などのコンテンツを表示させている。
* 複数のHTMLファイル（Webページ）を作成した上で、ページの間を適切に移動できるようにしている。
* CSSを用い、タグやクラス、IDを指定して、HTMLの要素の背景や文字の色など、表示を調整している。
 |

※追加的な評価基準

HTML/CSSを用いて作成しますが、JavaScriptまたはPythonを用いて、動作を追加することができます。APSくだもの図鑑では解説していませんが、生徒が自分で学習した事項を取り入れた場合、評価に加えることが望ましいです。想定される実装は次のようなものです。

* ブラウザのウィンドウを使って、確認メッセージを表示するなど、ユーザーとの簡単なやり取りを追加している

## 思考・判断・表現の観点の評価基準

テーマに基づいた一連のコンテンツが完成できたら、「おおむね満足できる」（B）としました。

さらに、テーマにあった工夫を考え、適切に判断して表現できた場合に、「十分満足できる」（A）としました。

|  |  |
| --- | --- |
| 評価 | 評価の視点 |
| 「おおむね満足できる」状況（B） | * 自ら決めた作品のテーマについて制作を行い、一連のWebコンテンツが作品として完成している。一定の動作を行い、テーマに沿った情報コンテンツとして成立している。
 |
| 「十分満足できる」状況（A） | * コンテンツそのもの（文章や文言、画像）、コンテンツの要素間の関係・構造（Webページ間の情報の整理の仕方や、Webページ間の遷移方法）、またはコンテンツに付加された表現（要素の色や大きさ、配置など）に、工夫が見られる。以下に工夫の例を挙げる。

|  |
| --- |
| コンテンツそのもの（文章や文言、画像） |
| * 作品のテーマに合わせた文言や文章、文体が選ばれている。
* 作品のテーマに合わせた画像が選ばれている。
 |
| コンテンツの要素間の関係・構造（Webページ間の情報の整理の仕方や、Webページ間の遷移方法） |
| * コンテンツの要素の間に「一覧と詳細」の関係があるとき、1つの一覧ページから複数の詳細ページへ、各詳細ページから元の一覧ページへ遷移する仕組みがある。
* コンテンツの要素の間に「順序」の関係があるとき（例：春→夏→秋→冬）、順序をたどる遷移ができる。
 |
| コンテンツに付加された表現（要素の色や大きさ、配置など） |
| * 目立たせたい文字や要素を大きくしている。
* 目立たせたい文字や要素の色（文字色・背景色）を変更している。
* 隣接する要素の間の、色の組み合わせを工夫している。
 |

 |

## 主体的に学習に取り組む態度の観点の評価基準

編集とその結果の確認を繰り返し、粘り強く制作にあたっていることと、技術情報を自ら調べ、試用して、作品に取り入れようとしていることを評価するようにしました。

|  |  |
| --- | --- |
| 評価 | 評価の視点 |
| 「おおむね満足できる」状況（B） | * 作品のテーマに合うコンテンツを、丁寧に、作成したり、検索している。
* HTMLファイルやCSSファイルを編集した後、反映された結果を確認して、編集内容と結果から、技術・知識を理解しようとしている。
 |
| 「十分満足できる」状況（A） | * 使用するタグやCSSの属性が思ったような結果をもたらさないときに、粘り強く原因を調べ、意図通りの動作にしようとしている。
* HTMLのタグや、CSSの属性などを自身で調べ、試した上で、作品に取り込んでいる。
 |

※「態度」の観点の性質上、制作された作品ではなく、制作中の態度の評価になります。授業中の観察や、ワークシートに記録された内容を評価の材料としてください。